第1回長野県安曇野地域における公共交通システムの構築に関する検討会 会議概要

- 1 委員会名 長野県安曇野地域における公共交通システムの構築に関する検討会
- 2 日 時 平成 18 年 7 月 10 日(月) 午後 2 時 00 分~3 時 20 分
- 3 会 場 堀金総合支所 301・302 号会議室
- 4 出席者 奥山委員、秋山委員代村上委員、小林委員代藤井委員、小林忠由委員、小岩井委員、田塚委員、樋口委員、藤原委員、尾台委員、二木委員、鎌崎委員、小林忠孝 委員、米倉委員、会田委員、黒岩委員、岡村委員、水谷委員、斉藤委員、古澤委 員代古岩井委員、宮崎委員、曲淵委員、土肥委員、堀田委員、三澤委員、久保田 委員、小林善明委員、八木委員代斉藤委員、浅見委員
- 5 国出席者(委員以外)竹橋支局長、熊井首席運輸企画専門官、高橋運輸企画専門官 市出席者(委員以外)市長、飯沼企画政策課長、猿田企画担当係長、上條企画員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 記者 5人
- 8 会議概要作成年月日 平成 18 年 7 月 19 日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

(1)開 会 (熊井首席運輸企画専門官)

(2)挨拶 (北陸信越運輸局長野運輸支局長)

(市長)

(3)自己紹介 (委員、国土交通省事務局、市事務局)

(4)議題

検討会設置要綱(案)(進行熊井首席運輸企画専門官) 座長:奥山委員選出全体スケジュールについて (以後進行…座長) 現在の公共交通の状況について その他

(5)閉 会 (熊井首席運輸企画専門官)

2 協議概要

検討会設置要綱(案)について(事務局より説明) 座長に奥山委員(学識経験者)を選出 座長就任挨拶

全体スケジュールについて(事務局より説明)

- ・ 検討会全体スケジュール (案)
- ・ 交通手段に関するアンケート調査(案)
- · 安曇野観光実態調査(案)
- ・ 公共交通問題検討のためのワークショップ開催(案)

座長:アンケート調査は最も不便を感じている皆さんを中心にお聞きするもので、実施にあ わせ多少内容の見直しをしながら効率的に出来るようにお願いしたい。

委員:観光実態調査はどんな方々に聞くのかお聞きしたい。

事務局:安曇野に来られた皆さんへの聞き取りや、宿泊施設、旅行エージエントの皆様などに お願いしたいと考えています。

委員:ワークショップの進め方や検討会委員の参加の考え方はどうか。30人の中に委員は 入っているのか。お年寄りにお昼を個人で考えるというのも何とかならないのか。

事務局:午前9時から昼を挟んで午後3時頃まで、運行実態の説明をさせて頂きながらグルー

プごとに検討し、その内容を発表いただき全体でまとめて行きたいと考えています。 委員の皆様にも是非色々な立場でご参加いただければありがたく、30人の数に委 員の皆様は基本的には入れて考えてはおりません。またご希望人数が多ければあく まで30人に拘る考えもありません。昼については事前にお弁当を予約頂くなど検 討したいと思います。

- 委員:このような検討は大変ありがたいが、老人の意見が出やすいように配慮願いたい。

事務局:交通弱者の皆様のご意見を反映できるように65歳以上の方のいらっしゃる世帯は全世帯とさせていただいておりますが、お願いするときの宛名などにも配慮して極力書きやすいようにしたいと思います。

座長:回答しやすいように再度フオーマットも含め検討して実施したいと思っています。

委員:形式や聞き方も同じパターンでないと記入する方が困ってしまう。

事務局:全体の流れを統一する中で実施したいと考えます。

委員:観光実態調査の中に将来的に移り住みたい、移住計画があるかも聞いてほしい。また、ホームページの中でも意見を吸い上げたりすることが大切と思うが、1ヶ月後のワークショップ参加をどのように呼びかけて行くのか。

事務局:ご意見を参考に検討いたします。またワークショップは市の広報やホームページ、 地域審議会などを通じてPRし参加者を募りたいと考えております。

現在の公共交通の状況について(事務局より説明)

委員:資料にある運行経費は利用収入などを含んだものなのか。

事務局:市の予算に沿うもので収入分などを差し引きしたものですが、委託料のみの場合と、 車検代などの経費を含んだものがあります。

座長:再度比較対照しやすいように事務局にお願いをしています。市の予算ベースで計上 されているものを中心にここに記載しているということです。

委員:うららカーの立ち上げなどに参画したが、色々な所で様々な運行を行っているが、 1年に1度位今のシステムが良いか悪いかの反省する事はあったのか。なければそ のような機会を設けることも必要ではないか。

事務局:そのような機会はあったと思いますが、今後何年かかけて育てて行くというスタンスは重要で、年度ごとに検証しながら改善する事は大変大切な事と考えます。

委員:他市町村例えば松本のタウンスニーカーなどとの比較があればいい。

事務局:アンケートにあわせ近隣の実態なども調査検証する中で、この地域にあったシステムは何か検討して参りたいと考えています。

座長:重要なポイントと思います。改善改良するために、成長させて行く仕組をこの中で 作っていけば良いと思います。事業の比較対照表などの情報を皆さんにもっていた だく中で、より突っ込んだ検討をしていただけるようにして行きたいと考えます。

その他(事務局より説明)

事務局:次回第2回を8月31日、第3回を9月26日この会場で午後開催したいと提案いたします。またアンケート等に関する窓口は市企画政策課企画担当でお願いします。

委員:今後事前に資料を配付していただきたい。

委員:旧町村において交通施策がどの位の負担であったのか把握はできていますか。

事務局:資料は極力事前に配布させて頂きたいと存じますが、アンケート調査の進捗状況によっては、当日になってしまう事もあると思われますがご了承下さい。 旧町村当時の交通政策の考え方を把握する事は可能と思われますので次回までの宿題とさせて頂きます。

座長:提案のありました次回の日程を抑えていただき、事務局にお気づきの点等あればご 連絡下さい。比較検討が出来るようにわかりやすい資料を相談しながら作成いただ き、是非皆さんの検討につなげたいと思います。ご協力をお願い申し上げます。